

奥多摩にくらす。



東京に住む、
自然にくらす。



奥多摩町ってどんなところ？

山があって、川があって、それでも、ここは東京都。

東京都の西端に位置する奥多摩町は、町全域が秩父多摩甲斐国立公園に指定されており面積の約 94% が森林という豊かな環境の中に、約 4,300 人が暮らす町です。

自然と共に生きてきた歴史と文化が根つき、
今、新しい暮らしを求める人たちが集まっています。

奥多摩という町の暮らしをご案内します。

INDEX

奥多摩町概要

奥多摩町ってどんなところ？ ・・・ 01

生活マップ

暮らしの地図、覗いてみよう！ ・・・ 03

移住者の声

移住してみたら奥多摩が好き！ ・・・ 05

子育て支援

充実のサポートで安心の子育てを。 ・・・ 06

子育て補助

こどもに直接届く支援で、未来を応援！ ・・・ 07

町営若者住宅

はじめの一步はここから、若者・子育て世代向け賃貸型住宅。 ・・・ 09

譲与型住宅

ずっと暮らして、我が家になる。 ・・・ 11

分譲地

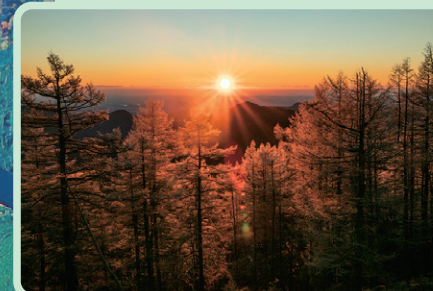
マイホームを建てる。 ・・・ 12

空家バンク

空き家で叶える自分らしい暮らし。 ・・・ 13

補助金制度

移住と定住をがっちり支える。 ・・・ 14



東京都内で最も広い町。

面積 **225.53** km²

東京都の区市町村の中で第1位の広さを誇ります。そのほとんどが山岳地帯と森林で占められており、雄大な自然の中に暮らしが息づいています。



一人ひとりの顔が見える町。

人口 **4,298** 人（世帯数 2,430）

人と人との距離が近く、顔の見える暮らしがここに 있습니다。

（令和8年7月現在）



山と水が、産業になる町。

産業

自然を求めて年間を通じて多くの人が訪れる観光業、豊かな森を活かした林業、そして鉱工業。自然資源を活かした産業が、奥多摩町の暮らしを支えています。



奥多摩の自然が育てた味。

特産品

清流が育てた奥多摩わさびと奥多摩やまめ、山里に伝わる伝統野菜・治助イモ、そして自然の恵みを活かしたクラフトビール。奥多摩ならではの豊かな食が揃っています。



四季折々に、動く町。

イベント

奥多摩町には、獅子舞や神楽などの郷土芸能や花火大会、産業祭のふれあいまつり、春・秋のウォーキングイベントや駅伝大会など様々なイベントが年間を通して開催されています。



暮らしの地図、覗いてみよう！

移住する前に、一番気になるのは「どこに何があるか」ではないでしょうか。

奥多摩町だけでなく、青梅・羽村・日の出など近隣エリアも含めた「生活圏」として見ると、奥多摩町の暮らしやすさが見えてきます。



● 日原鍾乳洞

● 雲取山

日本百名山雲取山

ひかわ 氷川エリア

奥多摩町の生活の中心として、役場・図書館・商店が集まるエリア。町営若者住宅や空家バンクの物件も多く、移住のはじめの住まいとして選ばれています。

原島商店

白丸 鳩ノ巣

奥多摩

奥多摩病院

ENEOS (小林石油)

双葉会診療所

古里

川井

● 奥多摩湖

おごうち 小河内エリア

奥多摩湖を擁する水と緑に囲まれたエリア。観光客も多く訪れる場所でありながら、静かな山あいの暮らしが続く場所。雄大な自然をすぐそばに感じながら暮らしたい人にとって特別な魅力があります。

HINOHARA VILLAGE

こり 古里エリア

奥多摩町の玄関口に近く、JR 青梅線・古里駅を中心に、生活利便性が高いエリア。多摩川沿いの豊かな地形が広がり、子育て世帯にも人気があります。

● 古里保育園

こり
古里駅

● 古里歯科診療所

子ども家庭支援センター「きこりん」(古里出張所)

古里郵便局

古里食飯

古里診療所

セブン-イレブン奥多摩古里店

J A 西東京古里経済店舗

古里小学校

文化会館 (古里図書館)

- お店
- ドラッグストア
- ガソリンスタンド
- スーパーマーケット
- ホームセンター
- 大型ショッピングモール

OME CITY

青梅 IC

JR 青梅線

411

139

HINODE TOWN

日の出 IC

●

AKIRUNO CITY

氷川小学校

奥多摩駅

福祉会館 (氷川図書館)

青梅信用金庫 奥多摩支店

ENEOS (和井田商会)

佐藤商店

タイムズマート

氷川保育園

井登屋商店

奥多摩中学校

移住してみたら

奥多摩が好き！

〓 移住者の声 〓

「自然は豊かだけど、実際の暮らしはどうだろう？」移住前は、そんな不安を抱える人も少なくありません。しかし、実際に奥多摩町に移り住んだ人、小中学生に話を聞くと「想像以上に暮らしやすい」「子育てするならここがいい」という実感が数多く寄せられています。

アンケート結果から見えてきた、「住んで分かった奥多摩町の魅力」をご紹介します！

自然の中で
育てたい！

移住の決め手は、
やっぱり自然環境でした

アンケートでは約半数（49.1%）が「自然の中で子どもを育てたかったから」と回答。実際に住んでみて「子育て・教育環境が良い」と実感する人も多く、移住前に抱いた理想が日々の暮らしの中でしっかりと実現しています。

手厚い支援
を実感！

想像以上に助かる、
町の充実したサポート

「町の移住・定住施策に魅力を感じた」という声が42.1%。特に給食費や教材費の無償化など、2026年度から始まった直接届く手厚い支援が、子育て世帯の家計と安心を力強く支えています。

転職なしで
そのまま移住！

仕事を变えずに、
暮らしだけをガラリと新しく

移住者の約6割は「転職をせずに」奥多摩での暮らしを始めています。平日は都心への通勤やリモートワーク、週末はすぐそばの清流で渓流釣り、なんて暮らしが叶います。



小中学生の声

大好きな奥多摩の
力になりたい！

「将来も奥多摩に住みたい」
小中学生がなんと85.3%！

目指したい仕事として「猟師や林業など、自然を守り奥多摩を発展させる仕事」を挙げることも多く、豊かな自然の中で育まれた郷土愛が、将来この町で生きていきたいという気持ちにつながっています。

医療費は
18歳までタダ！

事前の備えと町のサポートで
安心して暮らせる

「医療・福祉サービスがもっと充実してほしい」という声が40.4%あった一方で、18歳まで医療費が完全無償化される「マル乳・マル子・マル青制度」があり、車で少し走れば近隣の総合病院にもアクセスできるため、子育て世帯も安心です。

充実のサポートで

安心の子育てを。

奥多摩町では、子育てのあらゆる場面に寄り添うサポートが充実しています。

産後ケアや地域の預かりネットワーク、放課後の居場所づくりまで。「子育てしやすい町」をつくるための取り組みが、日々の暮らしをしっかりと支えています。

〓 町の子育て 〓

子育て支援施設

奥多摩町子ども家庭支援センター
「きこりん」

子育てに関する情報の提供や保護者同士の交流の場、こどもの遊び場としてもご利用いただけます。また、こどもに関する相談も受け付けています。

KIKORIN
きこりん

問合せ先

0428-85-2611

サポート内容



絵本といっしょ

乳幼児向けの絵本の紹介や読み聞かせ、紙芝居、手遊び、ペープサートなどを行っています。



キッズリトミック

生後6ヶ月以上の未就学児とその保護者でリズム遊びやからだを使って楽しむ音楽教育法です。



ぴよぴよひろば♡WARAリズム

遊びながら赤ちゃんの運動機能を育てる0歳のための運動教育です。



ママヨガ

在住の女性を対象に、リフレッシュと地域交流を目的としたヨガです。

心理発達相談

0歳から18歳未満のお子さんに関する相談を行っています。

こどもに直接届く支援で、 未来を応援！

奥多摩町では、
こどもの成長段階に合わせた
切れ目のない支援を行っています。

妊娠期

妊娠
届出後

妊婦面談

妊娠
8ヶ月

妊婦8ヶ月訪問

妊婦のための支援給付

10万円

妊娠時 5万円・出産時 5万円



出産期

Pick
up

〔こども応援事業〕
乳児用おむつ助成事業

お子さんの出生を記念して、
おむつギフトカードをプレゼント

6万円相当分

出生祝い記念品

「オーダータイル（赤ちゃんの写真入りタイル）」
または「子供用多目的イス」プレゼント

産後ケア事業

出産後1年以内の母と子が、医療機関や助産院にて助産師によるケアを受けられます
（日帰り・宿泊・訪問）

無料

産後
2ヶ月

あかちゃん訪問事業



幼児期

保育料等の無償化

町内の保育園においては

保育料・副食費 **無料**

紙おむつ支給支援

保育園が紙おむつを用意しているため、保護者が準備する必要ありません。

ファミリーサポートセンター事業・
病後児預かり事業

（生後6ヶ月から小6）

バースデーサポート事業

1歳の誕生日を迎えた方に、育児に関するアンケートに答えていただきギフトカードを贈与

第一子 6万円 第二子 7万円 第三子 8万円

小学生・中学生

Pick
up

〔こども応援事業〕小中学校入学祝金

小学校入学 **3**万円 中学校入学 **5**万円

Pick
up

〔こども応援事業〕小中学校児童生徒応援補助金

町内の小学校及び中学校に通学する児童生徒の
副教材費、校外学習、移動教室、
修学旅行の費用、卒業アルバムの制作費 **補助** ※町在住者に限る

Pick
up

〔こども応援事業〕小中学校給食費無償化

Pick
up

〔こども応援事業〕
学童保育会育成料の無償化

育成料 **無料**

おやつ代 **無料**

※学童保育会へのお申込みが必要

Pick
up

〔こども応援事業〕
中学生制服等支援事業

奥多摩中学校に入学する生徒の制服等の
購入費用を助成（国基準額参考）



放課後こども教室（小学校）

こどもたちの自主的な参加と地域の皆さんの協力のもと、学校の空き教室や校庭等を放課後や長期休み等に利用し、安全に安心してこどもたちが過ごせる場所を提供

遠距離通学費補助事業

高校生

Pick
up

〔こども応援事業〕
高校生等通学費助成事業

Pick
up

〔こども応援事業〕
高校生等応援支援金

高校生世代における様々な挑戦や体験活動への取組みを支援、部活動や検定試験、資格試験などの取組みに対して

年 **6**万円交付



海外派遣事業

医療費助成 18歳までの医療費全額無料 保険診療が適用される医療費分

018 サポート（東京都）月 **5,000**円

はじめの一步はここから、 若者・子育て世代向け賃貸型住宅。

若い世代・子育て世帯の移住を応援するために、
町が管理する賃貸型住宅です。
移住の最初の一步として、
ここでの暮らしを始めてみませんか。



申込資格	間取り	構造	使用料
いずれかに当てはまる方 ●世帯主が 40 歳以下の夫婦 ●世帯主が 50 歳以下で中学生以下の子どもがいる世帯 ※一部物件 35 歳以下の単身者	2LDK～	木造 2 階建て	月額 20,000 円～ 53,000 円 ※立地条件により 使用料は異なります。

名称	棟数	戸数	住所
川井	1	1	川井 564 番地 1
栃久保除ヶ野	6	6	氷川 459 番地
海沢第 1	4	9	海沢 805 番地
小丹波第 1 (宮ノ下)	6	12	小丹波 627 番地 9
小丹波第 3 (南ノ原)	2	4	小丹波 102 番地 1
南氷川第 1	1	3	氷川 1449 番地 1
小丹波第 4 (宮ノ下)	8	8	小丹波 468 番地
海沢第 2	1	1	海沢 912 番地 9
南氷川第 2	1	2	氷川 1492 番地 1
氷川大氷川	1	2	氷川 298 番地 1
梅沢	1	1	梅沢 152 番地 8
棚沢坂下 ※	1	3	棚沢 741 番地 2
小丹波第 2 (桜久保) ※	2	4	小丹波 162 番地 1
大丹波南平 ※	1	3	大丹波 145 番地 1
小丹波竹ノ平	1	1	小丹波 388 番地

※ 35 歳以下の単身者の方も入居可



ずっと暮らして、我が家になる。

「いつかは、自然に囲まれたマイホームを持ちたい」そんな家族の夢を、奥多摩町がどこよりも手厚くバックアップします。一定期間住み続けることで、土地と建物がそのまま自分のもの（無償譲与）になる、全国的にも珍しい事業です。

新築
戸建て！

22年後、土地と建物を譲与！



子育て応援住宅

「子育て応援住宅」は、町が整備した一戸建てに22年間定住することで、住み慣れた土地と建物をそのまま無償で譲り受けられます。



例

● 3LDK（キッチン、洗面化粧台、ユニットバス、トイレなどの各設備付き）

● 利用料：50,000円 / 月

※中学生以下の子ども一人につき 5,000円 / 月減額

対象要件

- 世帯主が43歳以下の者で中学生以下の子どもがいる世帯

15年後、土地と建物を譲与！



いなか暮らし支援住宅 & 若者定住応援住宅

町内にある空き家を活用した住宅です。15年間定住することで、土地と建物を無償で譲与します。土地と建物は現状での引き渡しとなりますが、自分好みにリノベーションを楽しむことができます。

例

● 間取り：

1階：キッチン、和室（6畳、8畳）、洗面脱衣室、浴室、トイレ、簡易物置

2階：和室（6畳、6畳）

※代表的な物件のイメージです。実際の仕様は物件ごとに異なります。

● 利用料：21,000円 / 年

リノベーションを応援するための補助金は、14ページへ。

対象要件

いずれかに当てはまる方

- 世帯主が45歳以下の夫婦
- 18歳以下の子どもがいる世帯

マイホームを建てる。

奥多摩に移住したら、次のステップはマイホーム。町が整備した分譲地なら、土地探しの苦労なく、理想の家づくりを始められます。山と川に囲まれた環境で、こどもが走り回れる庭のある家。そんな暮らしが、東京都内で実現できます。

家を建てる最大200万円の補助！



駅近分譲地、公募中！

奥多摩町では現在、最寄り駅から徒歩約5分という好立地に、分譲地および町有地を公募しています。対象エリアは川井地区・小丹波地区・氷川地区の3エリア。自然豊かな環境でありながら、駅近という利便性も兼ね備えた、暮らしやすい場所です。

販売価格は約150万円～約460万円。都心では考えられない価格帯で、広い土地を手にすることができます。移住して賃貸で暮らしてきた方も、この機会にマイホームへの第一歩を踏み出してみませんか。

対象要件

いずれかに当てはまる方

- 世帯主が45歳以下の夫婦
- 18歳以下の子どもがいる世帯
- 35歳以下の単身者

※その他の要件については、募集要項をご確認ください。
※補助金については14ページをご覧ください。

申込要件、販売条件などの
詳細情報はコチラから！



COLUMN

おくたま！ こどもの習い事&チャレンジガイドブック

「奥多摩にはどんな習い事があるの？」「活動のスケジュールや連絡先がパッと分かるものがあつたらいいのに……」そんな素朴な疑問やリアルな声をきっかけに、地域の方たちが自ら企画・取材・編集をして作り上げたのが、この『おくたま！こどもの習い事&チャレンジガイドブック』です！ スポーツから文化活動、奥多摩ならではのアクティビティまで、こどもたちの可能性を広げる町内の様々な活動が、一冊にまとめられています。



空き家で叶える 自分らしい暮らし。



空家バンクとは、町内にある空き家や土地の情報を町が管理し、移住・定住を希望する方と所有者をつなぐマッチング制度です。空き家を活用して、自分らしい新しい暮らしを始めてみませんか？

対象要件

若者向け いずれかに当てはまる方

- 世帯主が45歳以下の夫婦
- 中学生以下の子どもがいる世帯
- 35歳以下の単身者

町民向け

- 町在住世帯

一般向け

- 一般世帯または左記も含む世帯

空家バンクには
3種類あります

まずは
登録！

空家バンク利用の4STEP

STEP1 利用登録

※ご登録完了までに、1週間～2週間ほどお時間をいただく場合があります。

右記の書類を奥多摩町役場へ提出して、空家バンクに登録。

奥多摩町空家バンク
利用登録申込書



STEP2 物件を探す

奥多摩町ホームページで空家バンクの登録物件を確認。
登録番号・希望価格・間取り・写真など詳細情報を公開しています。

物件情報は
コチラから



STEP3 利用申込み

※その他必要書類については、要項をご確認ください。

下記の書類を奥多摩町役場に提出して、希望物件の利用を申込み。

①奥多摩町空家バンク
利用申込書



②奥多摩町空家バンク
利用の誓約書



STEP4 物件交渉

町指定の専任媒介者「奥多摩総合開発株式会社」の仲介により、物件提供者との交渉・契約手続きを進めます。

※媒介手数料が発生します。

※この制度の運用によって発生する個人情報の取り扱いについては、他の目的や不当な目的に使用されること等はありません。

※契約交渉については、奥多摩町と媒介業務について協定を締結している奥多摩総合開発株式会社の媒介により手続きを行うことになります。

移住と定住を がっちり 支える。

移住・定住への不安をお金の面からしっかりと支えるための補助金制度が充実しています。

住まいの支援

対象要件

いずれかに
当てはまる方

- 世帯主が45歳以下の夫婦
- 18歳以下の子どもがいる世帯
- 35歳以下の単身者

1. 移住・定住応援補助金

奥多摩町に定住することを目的として、住宅の新築・増築・改築・購入をした方に対して補助金を交付する制度です。

条件

- 住宅の新築、増築、改築または既存住宅等の取得をしていること。
- 事業費10万円以上

上限 **200** 万円
(事業費の2分の1)

さらに
補助！

内業者利用・地場木材活用でそれぞれ、

奥多摩商業協同組合商品券 **10** 万円上乘せ

2. 利子補給

住宅の新築・増築・改築・購入にあたり、金融機関から融資を受けた方を対象に、その利息の一部を町が補給する制度です。

条件

- 融資金額が400万円以上
- 返済期間が10年以上

	通常	町内金融機関利用
年間上限	30万円	33万円
補給率	借入利率の1/2	借入利率の1/2
期間	36か月(3年間)	36か月(3年間)

例：借入利率1%・融資金額1,000万円、
年間利息約10万円の場合

町が毎年約 **5** 万円を補給

就業・起業支援

定住促進サポート事業支援金

奥多摩町への移住と同時に、就業または起業をした方を対象に支援金を支給する制度です。就業の場合は、町のホームページに掲載されている対象求人への就職が条件となります。

奥多摩町に移り住んで、働く・起業すると、
最大 **100** 万円(世帯) 支援。

	世帯	単身
就業	60万円	30万円
起業	100万円	60万円

対象要件

- HPに掲載の対象求人就業した方
- 転入先で新たに起業した方

条件

- 50歳以下の者
- 転入後3か月～1年以内
- 転入から5年以上継続して住む意思があること
- 転入前10年間のうち通算5年以上、都内条件不利地域以外に在住していた方

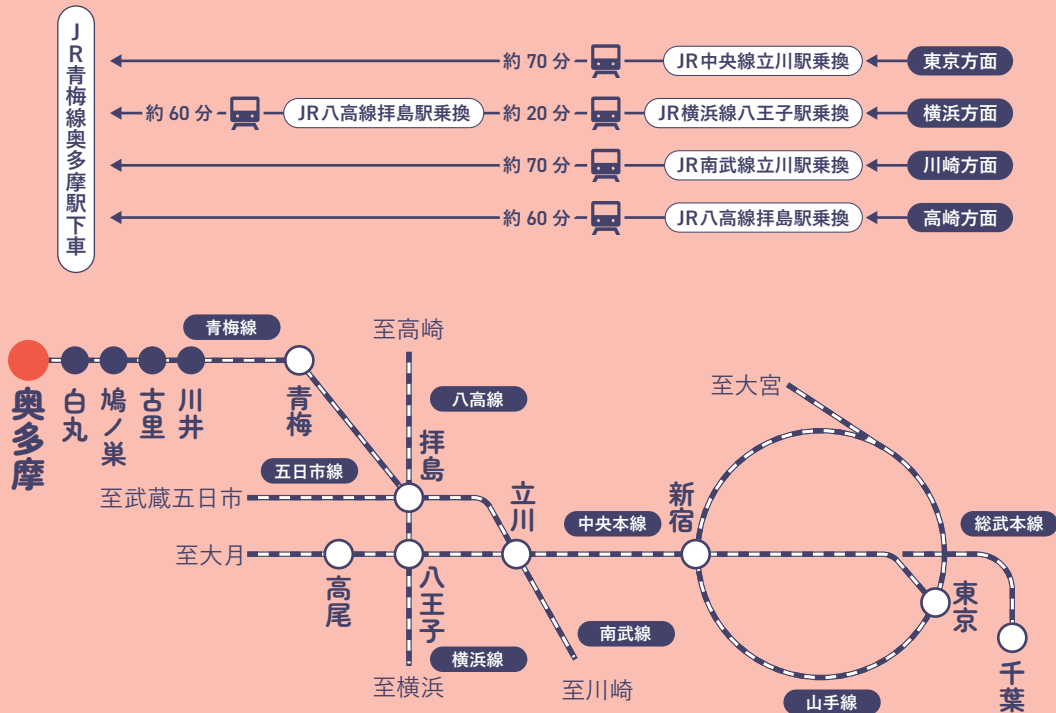
※その他の要件・条件については、募集要項をご確認下さい。

対象求人
はこちら

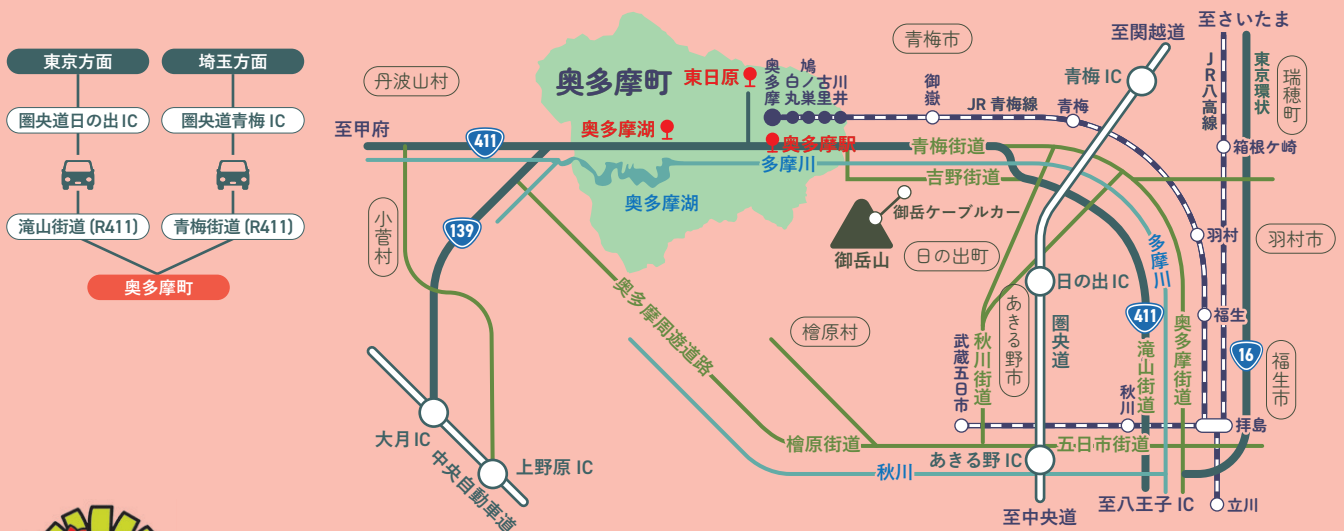


※補助金制度について、交付要件を欠くに至った者に対しては、補助金等を返還してもらいます。

電車でのアクセス



車でのアクセス



奥多摩町イメージキャラクター
わさびー



奥多摩町

<https://www.town.okutama.tokyo.jp/>

住まい・移住のこと

■子育て定住推進課 若者定住推進係 〒198-0212 奥多摩町氷川 215-6 0428-83-2310

保育園・こどものこと

■子ども家庭支援センター 〒198-0105 奥多摩町小丹波 108 0428-85-2611

小・中学校のこと

■教育課 〒198-0212 奥多摩町氷川 215-6 0428-83-2246